

2017-B

VI51B

拠出金・基金
の名称

国際家族計画連盟拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際家族計画連盟(IPPF)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国際保健政策室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

公的サービスが届きにくい貧困層や社会的弱者に対して、草の根レベルで、性と生殖に関する健康サービス(産科, 婦人科, HIV関連等を含む)の提供, 女性のエンパワーメントに関する活動, 人口・家族計画情報の収集, 啓発活動, 政策提言活動等の支援を行う。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	963,429	8,758		1米ドル=110円	100
平成28年度	1,066,694	8,889		1米ドル=120円	100
平成27年度	931,013	8,464		1米ドル= 110円	100

【当該任意拠出金等の意義, 成果等に関する我が国としての評価】

1 性と生殖に関する健康, 人口・家族計画分野で世界最大の非政府機関として国際的に大きな発言力を有するIPPFの主要拠出国(9.36%, 第4位(2017))として, 同機関への影響力を引き続き最大限確保し, この分野の日本の貢献を効果的に訴えていくことが可能。

2 IPPFの2017年実績は以下の通り:

(1) 146件の政策・法律にIPPFのアドボカシー活動を通じてSRHRとジェンダー平等の観点から修正や改正を促した。

(2) 1,015の青少年・女性団体がSRHRの実現のため行動を起こし, IPPFがそれを支援。

(3) 3,130万人の青少年が質の保証された包括的性教育(CSE)プログラムを修了した。

(4) 2億860万件のSRHサービスを提供。

(5) 21.1百万件のCYPを提供(CYP = Couple Years of Protection: カップルに対する避妊法の年間総供給量)。

(6) 660万件の意図しない妊娠を防ぎ, 170万件の安全でない人工妊娠中絶を防いだ。

(7) IPPF事務局は1億2,510万米ドルの活動資金を確保し, MAが2億9,170万米ドルの活動資金を自国で確保した。

(8) 23万2,881人がIPPFボランティアとして活動。

【備考】